

故事成語 1

故事成語の意味がわかる

月 日
名 前

■ 次の故事成語とその意味を、それぞれ一つずつ書きましょう。
故事成語とは、主に昔の中国の話(故事)をもとにしてきた言葉のことです。

(1) 矛盾

つじつまが合わないこと。

どんなものでもつき通せるといふ矛と、どんなものでもつき通せないといふ盾を売っていた商人に、ある人が「あなたが売っている矛で、あなたが売っている盾をついたらどうなるのか」とたずねたところ、商人は答えることができなかったという話からできた言葉。

(2) 五十歩百歩

苦労して勉強をした成果。

戦いどきに、敵から五十歩逃げた人が百歩逃げた人を笑ったが、どちらも逃げたことと変わりは無いという話からできた言葉。

(3) 螢雪の功

どちらも大きなちがいはないこと。

貧しくて灯油が買えず、雪の明かりや螢の光で勉強し、やがて出世した人物の話からできた言葉。

(4) 圧巻

激しくおこること。

役人になる試験のときに、最も優秀な人の答案を、ほかの人の答案のいちばん上に置いたという話からできた言葉。

(5) 怒髪天をつく

たいへん苦しく悲しいこと。

大国の王に無礼なふるまいをされた小国の使者が、かみの毛がさがさかだつて、頭にかぶったかんむりをつくほど怒りまじまじおこつたという話からできた言葉。

(6) 背水の陣

ほかと比べて、特にすぐれていること。

戦いどきに、後ろに下がれぬ川に落ちてしまつたような場所へ必死に戦つたという話からできた言葉。

(7) 断腸

一歩もあとにひけない状態で、全力で取り組むこと。

ある母が、人間に子どもをつかまえられた悲しみで死んでしまった。その母のおなかの中を見ると、腸がずたずたにちぎれていたという話からできた言葉。

